

見学調査報告書

テーマ : 幕張メッセにおける Japan IT Week 視察 最新 ICT 技術考察
ゼミ名 : 斎藤 正武ゼミ
調査日 : 2020 年 10 月 28 日 (水)
調査先 : 幕張メッセ
授業科目名 : 演習 I・II
参加学生数 : 12 名

調査の趣旨 (目的)

JAPAN IT ウィークとして、AI・データサイエンス・クラウドなどを活用したモバイル活用展が行われる。ICT 業界は、技術進度が早く、キャッチアップすることが難しいことから、学生自身で EXPO に参加し、情報を自らの力でつかみ、考察させる。実務で利用されている最新の ICT 技術をレポートすることで、大変刺激的な体験や学びを与えられる。

調査結果

例年、春にビックサイト展示場で開催されている Japan IT Week の ICT 技術に関する (AI, データサイエンス, クラウドなどの技術が一同に集まり 4000 余りの ICT 企業が最新) 技術を表示する EXPO であるが、今年度はコロナ禍の影響で秋開催となった。他の展示会がオンラインで開催されている中、対面での開催だったので、まず、コロナ対策が万全かということとを十分考慮にいれて、視察の可否を行ったが、主催者がそのあたりの対策は十分に行っていることを確認できたため、学生を連れての視察を行った。

最先端の ICT 技術であるがゆえ、また学生諸君が技術自体を完全に理解できていないという状況から、自分で出展企業のブースに足を運び、説明員の企業の方から、直接話を聞くことは大変有意義で、通常の学校生活では中々このような機会はない。

例年のことではあるが、スーツ着用で、展示会に出て直接企業の方と話すと、学生も大学では見せないような顔になり、自分なりに解釈して情報を整理する。今年もそのような場面が多く見られた。

まだ、学生諸君から報告書をもらっていないが (11 月中旬締め切り)、どんどん新しい言葉が出てくる ICT 技術の専門用語を学生のレベルで調査し、まとめるというのは、大変有意義とあらためて、感じた。

現在、ゼミの取り組みで「ちばぎんはまぎんビジネスコンテスト」のアイデアづくりもしているが、そのネタが見つかったようで、学生らにとっても直近のリアルな情報を得られたと言っていた。

今回は、会場も例年よりも「密」ではなく、問題なく有意義な視察が出来たと思っている。